



「台湾イノテックエキスポ」出展の様子。



展示会はプロ野球エージェントとつながる契機にもなった。



自社オリジナルの日本製グローブ。

野球専門店の強みを生かした海外展開への挑戦

株式会社スポーツショップ古内は、札幌市南区に店舗を構える野球用品専門店であり、野球グローブを中心としたスポーツ用品の販売や修理、カスタマイズなどを行っている。

同社が特に力を入れているのが、野球グローブの専門販売部門「GLOVE HOUSE」の運営だ。店内には多くのグローブが展示されており、利用者は実際に手にはめてフィット感や操作性を確認しながら商品を選ぶことができる。また、グローブの型付けや修理、メンテナンスなどにも対応しており、専門性の高いサービスを求めて道内外から来店する顧客も多く、専門店としての評価を高めてきた。

一方で近年、野球用品市場は国内人口の減少や競技人口の変化などにより市場環境が変化している。特に地方都市では顧客層の拡大が課題となっており、店舗販売だけに依存しない新たな販売チャネルの確立が求められていた。こうした状況を踏まえ、同社では海外市場にも視野を広げ、自社の専門性と商品価値を世界へ発信する取り組みを進めることとした。



台北市の野球専門店「野球魂」にて。

responsible party

世界へ届ける日本製グローブ

支援のおかげで、海外展開への心理的ハードルが低くなりました。高品質な日本製グローブを、お客様にも職人にも喜ばれる形で届けていきたいです。



代表取締役社長／古内 克弥

人とのつながりで広げる日本製グローブの海外販路

海外展開に向けた取り組みでは、現地のスポーツショップとの関係づくりを重視している。アメリカでは、ハワイやテキサスのスポーツショップと縁ができ、野球グローブの卸販売につなげることができた。また台湾では、北海道関連の展示会への出展をきっかけにスポーツショップ「野球魂」とのつながりが生まれた。台湾は野球人口もファンも多く、市場拡大が期待される。一方、オーストラリアでは多様なスポーツが盛んで大型スポーツ店が多いことから、POPUPなどで日本製グローブの魅力を直接伝えていきたい考えだ。

国ごとに市場環境や販売方法は大きく異なるが、言語の壁があっても現地へ足を運び、人と人として対話することで見てくることも多いという。海外では日本製グローブの品質を評価する声も多く、歓迎される場面も少なくない。また、SNSでの情報発信を通じて海外のファンとの接点も広がっており、Instagramをチェックして来店する海外客も増えている。同社ではこうした手応えをもとに、今後も海外市場への挑戦を積極的に続けていく方針である。

相談したくなる運動具店 | 野球グローブを中心としたスポーツ用品の販売・加工・修理を行う専門店。

株式会社スポーツショップ古内

札幌市南区石山2条2丁目8-22 TEL 011-616-5622

設立:昭和53年10月 従業員数:4名 代表者:代表取締役社長 古内 克弥

URL <https://sp-furuuchi.com/>

